
XML 技術者育成推進委員会、 『XML マスター』取得者 50 名以上の企業名を公表

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学常任理事兼 W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、XML の技術者認定制度である『XML マスター』の取得者が 2003 年 7 月 31 日現在で 50 名以上在職する企業名を公表しました。

本日時点で『XML マスター』取得者が 50 名を超える社名公表可能な企業は、以下の 9 社（社名：50 音順）になります。

茨城日立情報サービス株式会社(<http://www.ijs-inet.co.jp/>)

株式会社NEC情報システムズ(<http://www.nis.co.jp/>)

キヤノンソフトウェア株式会社(<http://www.canon-soft.co.jp/>)

日進ソフトウェア株式会社(<http://www.niss.co.jp/>)

PFUアクティブラボ株式会社 (<http://www.pfu.fujitsu.com/pal/>)

株式会社日立システムアンドサービス (<http://www.hitachi-system.co.jp/>)

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社(<http://www.hitachi-sk.co.jp/>)

株式会社日立ハイコス(<http://www.hicos.co.jp/>)

株式会社富士総合研究所(<http://www.fuji-ric.co.jp/>)

XML 技術者育成推進委員会では、今後も新たに 50 名以上『XML マスター』を取得した企業を XML マスター Web サイト(<http://www.xmlmaster.org/>)に追加掲載していくことにより、「e-Japan 構想」に代表される官公庁 XML プロジェクトや BtoB（企業間電子商取引）システム案件、Web サービス案件など、大量の『XML マスター』を必要とするシステム案件において、最適な提携先企業を随時紹介していく予定です。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。<http://www.xmlmaster.org/>

<お問い合わせ先>

XML技術者育成推進委員会事務局（インフォテリア内）

office@xmlmaster.org

（電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/>

（ウェブサイト）

大橋

（担当）

以上